

互いの学び場 語り合う

稲沢 愛知啓成高生と大学留学生



留学生（右側2人）に校内を案内する生徒＝稲沢市の愛知啓成高で

刈谷市の愛知教育大に通う留学生が、稲沢市の愛知啓成高校グローバルコースの一、二年生と交流する授

業が十二日、同校であり、互いの国の学校生活について紹介し合った。

留学生はペルーとカンボジア、モンゴル、インドネシア、フィリピン、英国から来た計八人。自国の教員や、教員を目指している人たちで、日本の教育を学ぶに来ている。

授業ではまず、留学生がそれぞれの出身国の名所や食べ物、学校生活について画像や映像を交えて紹介。高校生は複数の班に分かれて校内を案内し、自分たちが受けている授業について伝えた。交流を終えた同高校二年の大橋藍里さん（こも）は「インドネシアでは小学校から制服があり、種類も多いと聞いて驚いた。知っている単語で会話することができて、面白かった」と話した。（寺田結）